

# 平成28年第1回帯広市公営企業経営審議会 議事録要旨

日 時 : 平成28年2月22日(月) 午前10時

場 所 : 帯広市役所10階第5A会議室

## 議題(1) 平成28年度予算概要について

- 委員  
事務局
- 上下水道災害時支援協力員制度での水道における災害の定義について。  
地震発生で災害が起き避難する場合と何らかの原因で断水が発生した時、給水所等を設けます。この地震による災害と突発的に水道が使えなくなった場合の断水災害のことを言います。
- 委員  
事務局
- 災害支援協力員に報酬制度を設けてはどうか。  
上下水道部OB職員の話も聞いた中で、まずは地域貢献を考え、ボランティアでやっていただけるものと考えています。
- 委員  
事務局
- 災害支援協力制度の人数確保について。  
現在、40名弱の方が登録の意思を表明していただいています。その他にもお声をかけていない上下水道部OBで、災害訓練を経験しており、現場の給水対応ができる方々はいますので、その方々にお声をかけていくことで、平成30年度までに60名は確保できると考えています。
- 委員  
事務局
- 平成27年12月12日に一部地域で起きた断水について。  
西20条には減圧弁室というものがあり、水道の圧力を弱くする装置がありますが、その装置の調子が悪くなってしまったため、圧力が上がらない状況になってしまい、その結果一部の家庭で水が出にくくなったり、出なくなってしまったものです。その際、市民の方に状況を伝える対応が遅れていました。今後はFMラジオ等を使って市民周知をしっかりとやっていきます。
- 委員  
事務局
- 給水戸数増の理由について。  
給水戸数が増えているのは、近年の情勢の中で、単身者が増えていることや、住宅の購入によって世帯が徐々に増えているためです。

- 委員  
事務局
- 学校などで水道における災害教室を検討してはどうか。**  
小学校4年生を対象に、水ができるところから処理するところまでを職員が学校に出向き、説明している出前講座という取組みがありますので、その取組みを活用させていただく事などを含めて検討します。
- 委員  
事務局
- 下水道管渠長寿命化事業におけるTVカメラ調査について。**  
下水道管渠長寿命化事業は、第1期～第3期の計画で帯広川処理区の合流区域を対象として、老朽管渠の長寿命化対策を実施しますが、TVカメラ調査が前提となります。  
調査は、計画区域内の全ての管渠にTVカメラを入れ、不良箇所などの老朽度を診断し、その状況に応じ管渠の改築更新を実施します。
- 委員  
事務局
- 浸水シミュレーション事業と事業効果について。**  
「浸水シミュレーション」は、市街地で局地的な豪雨が発生した場合を想定して、地形や雨水管の管網状況から浸水被害の広がり方を解析するものです。  
効果としては、雨水整備の優先順位や隣接する排水区域へのバイパス誘導など効率的・効果的な「雨水整備」を進めることが出来る外、市の防災担当部局の総務部との連携により、浸水被害区域からの避難誘導など防災計画に有効活用を図るものです。
- 委員  
事務局
- 水道料金の収納率向上について。**  
出来る限り訪問や電話等で連絡を取る、督促状や催告を出すなど、様々な手段を講じて、収納率の向上に努めています。